

海を越えてひろがる交流の輪



広報 vol.12
2003.4

Public Information

KAKOGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
財団法人 加古川市国際交流協会

CONTENTS

2002年国際交流レビュー	2
JICAボランティア募集について	6
I LOVE KAKOGAWA	7
インフォメーション	8



第11回加古川市青年海外派遣 <シュラスコレストランにて>



第12回加古川市中学生海外派遣 <アラタキビジターセンターにて>

4月 外国人のための日本語講座開講 (4/11~翌3/16)

毎週木曜日の夜、市内近郊在住の外国人約30名が、協会ボランティアの指導により日本語を学んでいます。先生は日本語ボランティア養成講座などの修了者で、毎回工夫を凝らした授業を展開しています。生徒は初級2クラス、中級1クラスに分かれ、国籍も年齢もさまざまですがなごやかな雰囲気、自分のレベルに応じたクラスで熱心に学んでいます。



<授業風景>

参加者コメント

2002年8月に日本にきました。さいしょは日本語がぜんぜんわかりませんでした。でもK.I.Aの日本語教室に入ってから、いっぱい勉強しました。今はちょっと話せます、ちょっと分かりますから嬉しいです！K.I.Aの教室はいろいろないい点があります、いっぱい友達ができるとか、日本語で会話もできるとか、いろいろな外国人も会えます。本当に楽しいです。

初級クラス マーサ・パーク さん(イギリス)

日本語講座に参加しまして、とてもいい経験になりました。日本語の勉強だけでなく、いろんな人にも会える可能性があるのも、とても面白くて、楽しく日本の文化、社会、言葉の勉強ができるようになりました。生徒たちも先生たちも和気あいあいと勉強しました。また4月から参加したいと思います。またみんなて毎週木曜日は楽しく勉強しましょう。

中級クラス ジョアン・オブライエン さん(アイルランド)

日本語講座には、実にさまざまなバックグラウンドを持った方々が参加されています。みなさんそれぞれの到達度や、目標は異なりますがそれでも、楽しいクラスを通じて、日本語の習得だけでは解決できないコミュニケーションの力をつけていけます。講師をさせていただいても、教わることも多くあらたな日本の一面をも気付かされることもしばしば。日本人、外国人問わず、より多くの方にこの講座を知って、理解していただきお互いが住みやすい場所を提案できるようになればいいなと思っています。

中級クラス担当講師 斉藤 真美 さん

日本語を教える楽しさと難しさを痛感した一年でした。しかし何よりも日本語を一生懸命学ぼうとする人たちの熱い想いを感じ、その出会いがうれしかったです。

初級クラス担当講師 是川 光弘 さん

5月 語学講座開講 (5/25~11/9)

一昨年度から始まった協会主催の語学講座。3回目の今年は、初級中国語会話、初級ハングル会話、上級英会話、トラベル英会話の4講座が開講されました。いずれの講座も応募者多数のため抽選で選ばれ、受講生は、新たな言語を学ぶ楽しさを教わっています。15回の講座が終了してからも自主グループとして引き続き活動されているところもあります。



<初級ハングル講座の授業風景>

6月 サントス選手ご両親来加 (6/13・14)

昨年開催されたサッカーワールドカップのメンバーである三都主アレサンドロ選手のご両親が日本滞在中、加古川市を訪問されました。日本に帰化したサントス選手ですが、生まれ育ったのは、当市姉妹都市のブラジル・マリンガ市。そのご縁から急きょ加古川を訪れることになり、加古川市役所表敬訪問や市内見学をして、翌日のチュニジア戦を観戦するため、大阪に発たれました。



<歓迎夕食会にて>

8月 第11回加古川市青年海外派遣 (8/7～17)

毎年、市内の18～30歳の青年を姉妹都市のブラジル・マリンガ市へ派遣する恒例事業。今年は、当協会吉田副理事長を団長に、引率を含め12名の団員が参加した。飛行機を乗り継ぎ、約30時間かけて姉妹都市マリンガ市に到着。4日間のホームステイ終了後、リオデジャネイロやイグアスの滝等を見学しました。その後派遣団員は、疲れを見せることなく次の訪問地アメリカ・サンフランシスコへと向かいました。



<サントス選手のお父さんとサッカー>

8月 第12回加古川市中学生海外派遣 (8/6～20)

市内の各中学校を代表して、13名の派遣生が今年も姉妹都市ワイタケレ市を訪問しました。

到着日、ワイタケレ市役所での市長さんによる歓迎に、みな緊張さみでしたが日本の歌を披露しました。また、国鳥キウイを動物園で見たり、大自然の中、乗馬を体験したりと充実した毎日。

ロトルア泊旅行では、マオリの伝統的な歌と踊りのショーを見たり、羊の毛刈りの様子などを見学。さよならパーティではステイ先にお礼の言葉を述べながら涙ぐむ子も。この貴重な経験をずっと忘れないでほしいものです。



<ワイタケレ市長と記念写真>

9月 ふれあいティータイム (9/7)

今回のゲストは、アイルランド出身のジョアン・オブライエンさん。

日本とアイルランドの生活・文化・教育の違いなどについて、兵庫県採用の英語指導助手ならではの視点で話していただきました。また熱心な参加者からの質問にも、すべて日本語で丁寧に答えていただき、楽しいひとときを過ごしました。



<ジョアン・オブライエンさん>

10月 ふれあい国際料理講座 (11/5・19・11/16・30 12/5)

在住外国人を講師に招き、お国自慢の家庭料理を学ぶこの講座も今年で11回目を迎えました。今回はインド・韓国・ラオス・メキシコ・カナダ料理です。

メキシコ料理では本場とうもろこしの粉を使ってタコスの皮づくりを学びました。またラオス料理では、魚を乾燥したバナナの皮で包み、独特の蒸し器を使った調理に、みな注目していました。



<カナダ料理でパイ生地作成中>

11月 チャットルーム (11/23・2/15)

「在住外国人と交流したい!」「もっと気軽にお話したい!」という皆様の要望にお答えして、今年はじめて開催しました。第1回目は定員20名を大幅に上回る応募者が殺到し、急きょ会場を増やして対応しました。当日は中国、アメリカ、タイ、インドなど7カ国15人と70人の日本人が参加しておしゃべりに花が咲いていました。



<参加者の様子>

参加者コメント

私は香港に1年間住んでいたことがあり、そこで香港人の友達にいろんなことを助けてもらいました。今回地元に住んでいる外国人の人達と交流が持てるということで参加しました。忘れかけていた英語も少し思い出して楽しくお話でき、とても良かったです。

池本 智美 さん

真のコミュニケーションが図れる良い機会だと思います。参加者とお話するとき、日本語を用いなくても、的確な言葉が見つからない時は、ジェスチャーなどで考えを述べることができました。たくさんの地域の人々と会うことができ、本当に楽しかったです。

アメリカ出身 アウ・ゴードンさん

人数的にもちょうど良くて、なごやかで楽しいひとときを過ごせました。あの日はたまたま私の誕生日でいい記念になりました。

下司 幸子 さん

日本では外国人に会える可能性があまりないですが、チャットルームのアイデアはすごく良いと思います。

ニュージーランド出身 ステファン・バトラー さん

1月 マリンガ市青年派遣団加古川市訪問 (1/23～27)

佐々木良法団長と4名のマリンガ市青年派遣団が来日し、4日間加古川市に滞在しました。

青年達は、かつて加古川市からマリンガ市に派遣された青年宅にホームステイし、ひとときの交流を深めました。滞在中は市内の施設見学をしたり、日岡の武道館で剣道の体験 したりするなど、たくさんの思い出とともに帰国しました。



<歓迎夕食会>

2月 第10回加古川市障害者海外派遣 (2/5～12)

今年は8名の派遣生と医師を含む引率9名が、ニュージーランド・ワイタケレ市へ派遣されました。出発までに、簡単な英会話や宿泊研修などを経て、真夏の国でのびのびと乗馬セラピーや農場・博物館見学をしました。

親元を離れての外国での生活に、みんな最初は戸惑いながらも、現地の人々のおおらかでやさしい対応に、感激いっぱいの旅になりました。



<トロック電車>



3月 第9回市民国際交流講演会 (3/9)

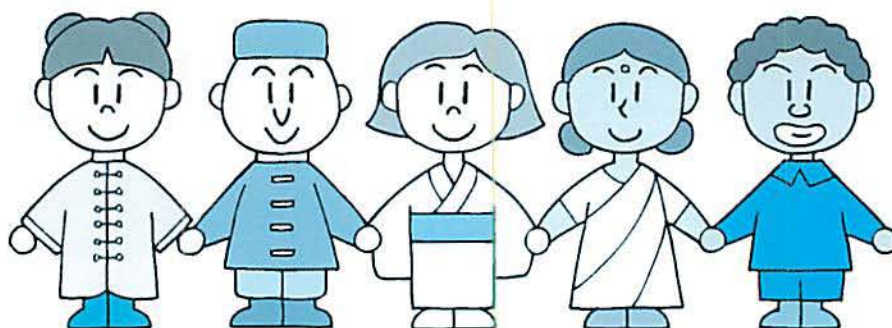
今回はジャーナリストとしてご活躍されている幸田シャミンさんをお招きし、『国際化時代のコミュニケーション ～私の体験談～』と題してご講演いただきました。

初めてフランスに留学されたときのハプニングや、習慣の違いにとまどいながらもそれを乗り越えられた体験を、わかりやすくお話されました。

「国際協力事業団（JICA）ボランティア募集中」

JICAボランティアは、途上国で世界の人たちと一緒に働き、
お互いの技術、知識、経験を活かして国づくりに協力しています。
また、ともに暮らすことを通じて、日本との交流の橋渡し役にもなっています。
現在JICAでは、以下の要領でボランティアを募集しています。

	青年海外協力隊 日系社会青年ボランティア	シニア海外ボランティア
年 齢	20歳～39歳まで	40歳～69歳まで
応募資格	上記年齢であり日本国籍をもつ心身ともに健康な方	
募集期間	年2回（春・秋）	
派遣期間	原則として2年	1年ないし2年



その他相談会等も随時実施しております。詳細については、下記へお問い合わせ下さい。

国際協力事業団（JICA）兵庫国際センター

電話:078(261)0352 または 078(261)0341

なお、JICAホームページでも説明会や募集についてご案内しております。

ホームページアドレス：<http://www.jica.go.jp>

- 資料郵送希望の方は住所・氏名・希望資料名を明記し390円（日系青年は240円）切手を同封の上、下記へご請求下さい。

〒651-0073 神戸市中央区協浜海岸通1-5-2
JICA兵庫国際センター

I LOVE KAKOGAWA

～在住外国人紹介のページ～

今回は国際結婚をして加古川市に在住の韓国出身の女性にお話をうかがいます。

Q 自己紹介をお願いします。

A ハン・チョンヒと申します。釜山の大学を卒業後、大学院1回生の時に主人と知り合い、韓国で結婚後、次の年に来日しました。現在、韓国で取得した資格を生かして、各地で韓国語講座をしたり、アルバイトをしています。

Q いつ日本に来られましたか？

A 2001年9月末に来日しました。

Q 加古川の印象をお願いします。

A 静かで家と工場が多いですね。図書館がきれいだと思います。

Q 日本に来て驚いたことは？

A 道が狭いことです。また自転車の前後ろに子供を乗せて、傘を持って走っている姿を見たときなどですね。

Q どこか日本を旅行したことはありますか。

A 京都で歴史的な文化に触れて感動しました。

Q 日本で困ったことはありますか

A (今は大丈夫になりましたが) 店に入ると店員が言葉を私にかけてきた時や、病院に行って問診票を書くときです。

また、三ノ宮から一人で帰るとき、電車に乗ることでした。

Q ここに住んでうれしかったことは？

A 日本語がわからないとき、体がしんどいときなど、食事を一緒にできる友達ができただのがすごくうれしいです。涙が出るほど感謝したい人がいますね。

Q 今夢中になっていることや趣味など教えてください。

A アルバイト先の店長に習っている、筆ペン習字と最近教えている韓国語講座です。

Q 当協会の日本語講座に参加された感想を教えてください。

A 外国人のための日本語講座に参加することにより、よき友人、先生方と知り合うことができ、加古川での生活が楽しく過ごせています。この講座を知

らなかったときは、すごく寂しかったです。だから、加古川市在住で情報が無く、家で寂しい時間を過ごしている人にぜひ教えてあげたいです。

Q 日本のお友達はたくさんいますか？

A (日本) 加古川に来るまで、歴史的な問題があり、日本のイメージはあまり良くなかったですけど、親切な人が多いことにより、たくさんのお友達ができました。ほかの韓国人も日本人に対するイメージを変えて欲しいと思います。



< 東京ディズニーランドにて >

Q ハングルを学ぶ人が増えましたが？

A 韓国では日本語を第2外国語として学んでいます。日本ではあまり韓国について知らない人が多いことが意外でした。最近、韓国語を教えるなど依頼が増えて嬉しく思っています。韓国語は日本語と語順や文法が同じこともあり、覚えることが簡単にできるのです。

Q 加古川のみなさまへ何か一言お願いします。

A 私と一緒に韓国について勉強したり、韓国語を学びましょう。

どうもありがとうございました

(談) 当協会でも初級ハングル講座を何度か実施しました。講座終了後も自主グループを作り、引き続いて学んでいる方もおられます。まずは「言葉」を通じて諸外国をもっと身近に感じることができるといいですね。

INFORMATION

新メンバー募集

国際交流センターでは、さまざまな自主グループが活動しており、下記のとおりメンバーを募集しています。詳細は、代表者にお問い合わせください。

	講座名	レベル	活動日	代表者連絡先
1	ハングル勉強会	初中級	火 19時～21時	藤尾 光芳：090-8658-7143
2	ハングル講座	初心者～上級	日 10時～12時	山本 祐作：0794-28-1055
3	加古川トヨイル(ハングル講座)	中級	土 19時～21時	李 承峰：090-3992-0626
4	楽しく学ぶ中国語	初～上級	木 10時～15時	阿部 英雄：0794-38-7017
5	時事英語勉強会	中～上級	金 9時～12時	野崎 一恵：0794-54-2458
6	Saturday Chats(英会話)	中級	土 10時～12時	木村 正敏：0794-54-3440
7	フランク大学(英会話)	中～上級	火 19時～21時	遠藤喜美子：0794-28-3576
8	The New E.C.C.(英会話)	上級	土 10時～12時	坂田 重雄：090-3860-4417
9	英会話サークル	初級	水 19時～21時	北村 典子：0794-22-2283

テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカード、古切手、外貨コインを回収しています。

ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジアの復興に役立てられます。協会まで持参、もしくは郵送してください。みなさんのご協力をお願いします。

国際交流センター利用案内

- 開館時間…午前9時から午後9時まで
(ただし、日曜日は午後5時まで)
- 休館日…毎週月曜日。ただし、国民の休日等が月曜日あたるときはその翌日

編集後記

早いもので(財)加古川市国際交流協会も設立後10年が過ぎました。

語学講座など各種事業への参加者も増え、うれしい限りです。よりよい協会にするため、みなさまからの国際交流に関する様々なご要望もお待ちしております。

2003年4月発行

(財)加古川市国際交流協会

〒675-0017 加古川市野口町良野387-1

TEL 0794-25-1166

FAX 0794-25-0200

E-mail kia@city.kakogawa.hyogo.jp

ボランティア募集

協会の事業をお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。

- ① 語学ボランティア
各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳
- ② 各種サービスボランティア
日本文化の紹介、外国人への日本語指導など
- ③ ホームステイボランティア
外国人のホームステイ受け入れ

賛助会員募集

協会では、毎年国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員の募集をしております。

会費は事業費の一部として活用させていただきます。

●年会費

個人 1口 2,000円

団体 1口 5,000円

法人 1口 10,000円

●申込書

協会事務所、市役所案内などにあります。

詳しくは協会まで。

*会員には、指定旅行社の優待割引制度・事業参加費の割引などの特典があります。